

# くずまき 議会だより

3 月定例会議  
No. 199

2022 (令和 4) 年  
4 月 13 日 発行  
岩手県葛巻町議会



4 年度予算決定  
新庁舎竣工へ最大規模予算

2p

新年度の注目事業 新規事業が充実

6p

交通結節点の利便性向上を 5 議員が一般質問

14p

私たちが考えました 小学校児童・中学生・高校生  
との ふるさと懇談会

19p

笑顔のつどい ④6



表紙

町商工会女性部  
ひな飾りづくり  
(関連22P)

## 町長施政方針



「葛巻にしかできない」  
チャレンジ精神を磨き  
人口減少問題を解決

鈴木重男町長

新型コロナウイルス感染症が確認されてから丸2年が経過しましたが、依然として感染拡大は収束せず、この先も新型コロナウイルスという見えないリスクを感じながらの生活が続くかもしれませんが、町民の皆さんと一丸となり助け合いながら、この困難を乗り越えていきたいと思っております。

このコロナ禍を「逆境の時こそ大きなチャンスをつかむ好機」と捉え、国の施策に呼応しながらこれまで町が築き上げてきた「葛巻らしさ」「葛巻だからできる」「葛巻にしかできない」というチャレンジ精神に磨きをかけ、さらに積極果敢に取り組むことで最重要課題である人口減少問題の解決、交流人口・関係人口の拡大、地方創生による魅力ある“まちづくり”などを進めて参ります。(要約)

## 教育行政施政方針



学びと交流の拠点  
まちづくりを担う  
人材の育成に努める

高畑嗣人教育長

子育て環境の充実を図るために、老朽化が著しい保育園舎の計画的な改築整備を順次進め、葛巻保育園を核とした認定こども園としての一貫した経営による保育の充実を図ります。

新庁舎内に設置する町民の学びと交流、図書館機能や文化創造活動の拠点となるスペースのオープンに向け、サービスの充実に取り組み、まちづくりを担う人材の育成に努めて参ります。(要約)

# 新庁舎



完成が待たれる新庁舎（4月5日）

### 当初予算額

会計名	予算額
特別	
国民健康保険事業	8億4546万円
農業集落排水事業	2億2393万円
後期高齢者医療事業	8731万円
小計	11億5671万円
企業	
病院事業	13億4065万円
水道事業	3億3528万円
小計	16億7594万円

### 特別・企業会計

三つの特別会計の当初予算総額は、11億5671万円、前年度に比べて557万円、0.5%減少しました。二つの企業会計の当初予算総額は、16億7594万円、前年度に比べて1億701万円、6.8%増加しました。

病院整備の償還が開始  
病院会計は、平成29年に整備した病院施設整備費の償還開始により、収益的支出と資本的支出の総額は1億2928万円、6%増加しました。

水道の工事が減  
水道会計は、大橋排水管添架工事の完了などにより、収益的支出と資本的支出の総額が2228万円、6.2%減少しました。

# 竣工へ最大規模の予算

## 大型の4年度予算を決定

### 3月定例会議

3月定例会議は、3月4日から15日までの12日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、高畑教育長が教育行政方針の演述を行いました。町長から提出された議案は4年度一般会計予算など21件で、原案どおり『決定』しました。一般質問では5人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

前年度より  
約10億円の増

### 一般会計

4年度の一般会計当初予算は、75億6026万円、前年度に比べて10億2327万円、15.7%の増となっております。

基金からの  
繰入れが増加

収入は全体の43.3%を占める地方交付税が32億7000万円、前年

度比べて2億3000万円、7.6%増加しました。町税は5億7477万円、前年度に比べて3944万円、6.4%減少しました。

基金からは7億6019万円繰入れ、主に新庁舎建設事業の財源となります。

自主財源の割合は20.7%で、前年度に比べて3億599万円、24.4%増加しました。

### 新規事業が充実

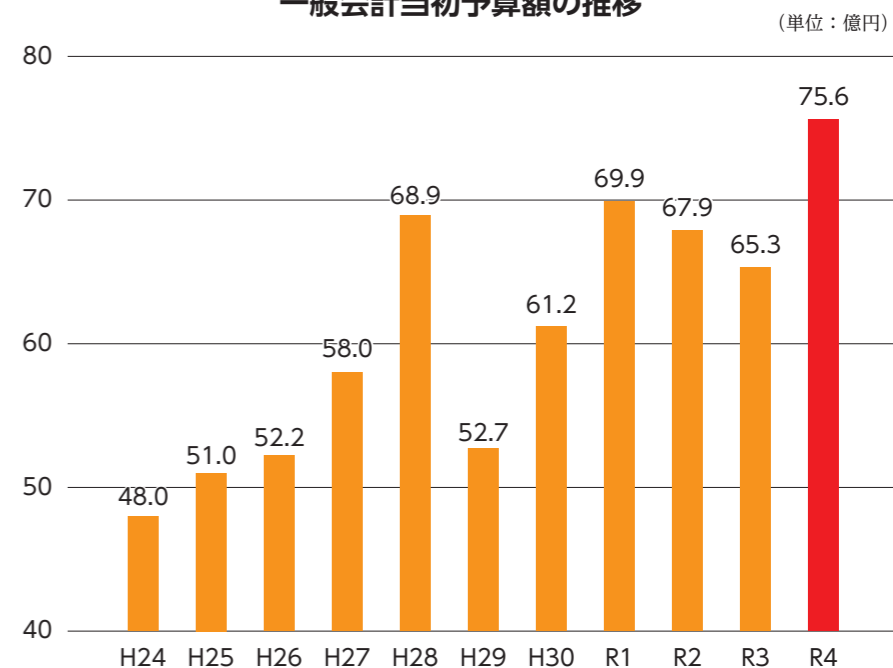
支出は、新庁舎建設費

用を計上している総務費が24億3665万円、152.6%の増となっております。

若者雇用促進住宅整備事業、集会所施設整備事業（江刈馬淵自治会館）、移

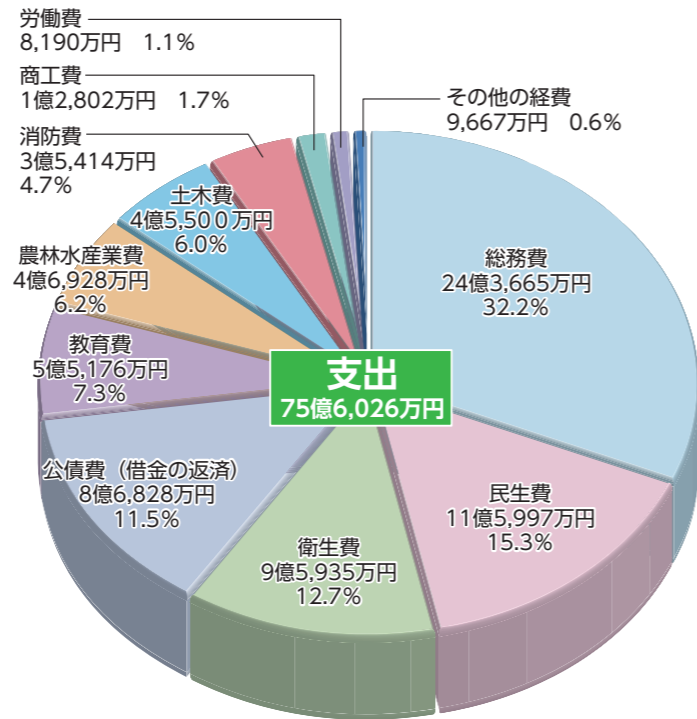
動図書館車更新事業などの新規事業が盛り込まれました。一般会計予算の詳しい内訳は4～5ページを、主な新規事業は6～7ページをご覧ください。

### 一般会計当初予算額の推移



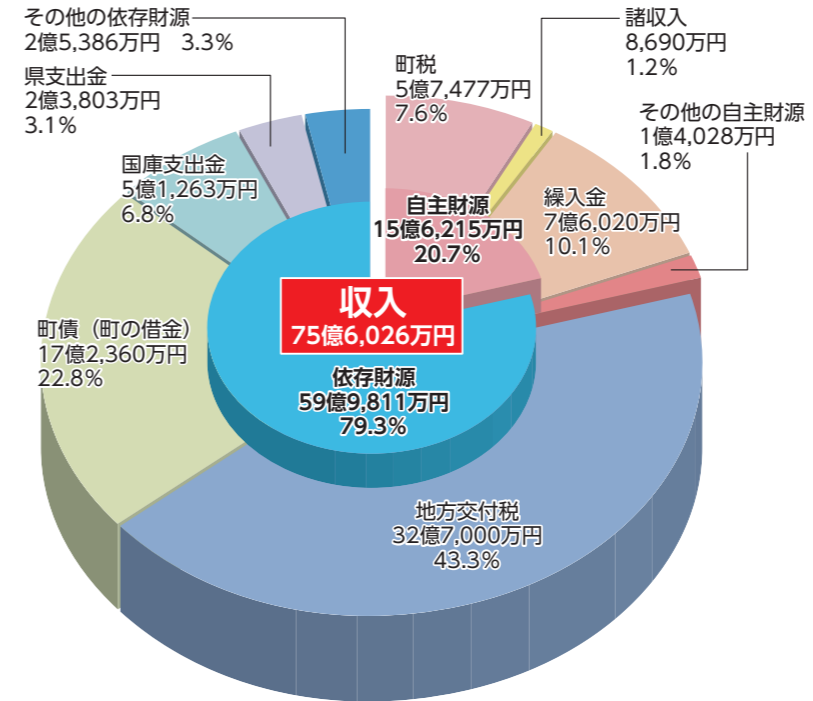
# 新庁舎完成へ予算増額

項目	摘要
総務費	情報通信基盤などの維持管理、行政事務などにかかる経費
民生費	高齢者福祉や障がい者福祉、保育所の運営など社会保障にかかる経費
衛生費	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業などにかかる経費
農林水産業費	農林・畜産業の振興などにかかる経費
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
消防費	防災や災害時の活動などにかかる経費
労働費	労働福祉の事業にかかる経費
その他の経費	議会費、諸支出金、予備費などの経費



※万円未満切捨

# 町の基金を有効活用

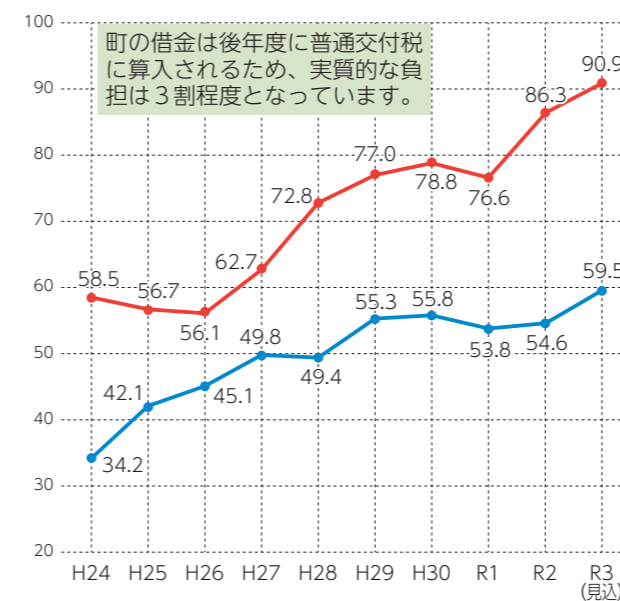


※万円未満切捨

項目	摘要
町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
諸収入	町有建物等の移転補償費など
繰入金	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
その他の自主財源	分担金、負担金、使用料、手数料、寄付金など
地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
町債	事業を行うために国などから借りるお金
国庫支出金	事業を行うために国から交付されるお金
県支出金	事業を行うために県から交付されるお金
その他の依存財源	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金など

町の借金と貯金の推移

(単位：億円)



※主要4基金とは  
 ①財政調整基金 ②町債減債基金  
 ③地域づくり振興基金 ④公共施設等整備基金

**借金は約4億5千万増**  
 町の借金は後年度に普通交付税に算入されるため、実質的な負担は3割程度となっています。

**貯金は約4億8千万増**  
 町の貯金(※主要4基金)の3年度末の見込額は90億8,527万円です。前年度に比べて4億4,861万円、4・9割増加しました。

後年に一部が地方交付税で収入となる町債を活用、負担軽減しています。町民一人当たり(4年2月末の人口57,177人)約159万円になります。

平成24年度以降の町の借金と貯金の推移は、左の表のとおりです。

## 予算75億円を町民一人あたりにすると

(性質別)

**繰入金 6.4%**  
 子どもへの仕送り  
**85,000円**

**1,322,000円**  
 (令和4年2月末の人口)  
 5,717人

**人件費 13.4%**  
 食費  
**177,000円**

**負担金等 18.4%**  
 年金・保険料等  
**244,000円**

建設事業費が  
 去年より  
 約17万円も  
 増えたわ。



**扶助費 5.9%**  
 医療費等  
**78,000円**

**物件費 14.1%**  
 光熱水道費  
**187,000円**

**建設事業費 30.3%**  
 家の増改築等  
**400,000円**

**公債費 11.5%**  
 住宅ローン等  
**151,000円**

# 4年度 **注目!** 事業

主な新規事業をお知らせします

## 集会施設整備事業



現在の馬淵中央公民館

予算額  
3,550万円

江刈馬淵自治会館の整備

## 除間伐事業



手入れが必要な山林

予算額  
1,518万円

国庫補助・県単補助の対象とならない除伐及び保育間伐への補助事業を創設

## 移動図書館車更新事業



予算額  
1,400万円

平成11年に整備した移動図書館車「やまどり号」の更新

## 若者雇用促進住宅工事



元年度に整備した茶屋場の定住住宅

予算額  
6,580万円

若者の定住に向け、入居する雇用促進住宅を整備

くずまきまち  
「葛巻町」という 宝箱から  
今年も“も〜っと”すごい  
宝物が出て きたぞ〜

## 高齢者世帯下水道使用料支援事業



予算額  
546万円

75歳以上の高齢者がいる世帯の下水道使用料金の一部を補助

## コンバイン購入費補助



作業のイメージ

予算額  
300万円

遊休農地解消に奨励している菜種の収穫作業軽減のため、コンバインを購入する協議会へ半額補助

## 20歳のつどい晴着等助成事業



予算額  
138万円

「20歳のつどい」に参加する際の晴着の着付け等に係る経費の一部を助成



## 町産材の活用 進まないのは

**姉帯委員** 町産材活用への補助金が減っているのはなぜか。活用が進まないのはどうしてか。

**農林環境エネルギー課長**

一般住宅のほか牛舎も対象としており、3年度で大型の牛舎建築事業が完了するため、4年度は一般住宅のみ4件を想定。町産材を資材として扱う業者を選び、相談し進めることが重要で、実績に応じて補正予算でも対応したい。

## 菜種の収穫 コンバインで

**辰柳委員** コンバインの購入に対する補助金を計上している。遊休農地の解消対策と思われるが、具体的な内容は。

## 病院経営 課題への対応

**鈴木委員** 病院経営を赤字にするのは大変なことである。経営向上のため、今後、検討課題についてどのように考えているか。  
**病院事務局長** 人口減少により患者数も年々減少するため、収益の確保が課題である。今ある人的資源で可能な医療体制により、診療報酬の確保に努めたい。

## 公共施設 今後の見込み

**山崎委員** 将来の公共施設整備へ向けた基金が約

**農林環境エネルギー課長** 町農業再生協議会が購入し、町がその半額を協議会へ補助するもの。遊休農地の解消対策として菜種を推奨、今まで収穫が手刈りだったため、なかなか普及しなかった。

去年、コンバインのデモ機で刈り取りし、菜種500キロを収穫、現在、菜種油を製造している。アタッチメントの交換で、そばなどの刈り取りにも活用できる。さらに遊休農地の解消に努めたい。

## 文化財の予算 もっと充実を

**近藤委員** 文化財関係の予算をもっと充実し、将来の子どもたちに葛巻の文化財、歴史を伝えていくべきと思うがどうか。  
**まなび交流課長** 新たな事業を展開する中で、必

33億円となっている。今後の推移、事業の見込みについて伺う。  
**副町長** 病院建設と江川簡易水道の整備に係る借入金金の返済が、4年度から始まるためこの基金を取り崩し活用する。また、役場新庁舎の建設へも充てる予定である。

今後は、馬淵川地区（北部地区）の水道管の布設替工事を行い、保育施設や各地区のセンター等の老朽化に対応する予定。また、北上山系開発事業で整備した畜産開発公社の育成牛舎も老朽化が進んでおり、早急に対応が必要な施設と認識している。

## 水道会計の赤字 改善の検討は

**近藤委員** 水道会計は数年、赤字が続いている。今後、町民が安心して水

要な財源を確保、予算の充実を図り、文化財保護委員とも協議し進めたい。

## スポーツ習慣化 対象は何か

**山崎委員** スポーツ習慣化事業は、具体的に何が対象か。

**健康福祉課長** ウォーキング、ランニング、サイクリングの3つである。町は今まで、健康づくりのため健診事業に力を入れて取り組んできたが、ギャップがあった。

## エンジョイ チケット継続

**遠藤委員** コロナ対策の

道を使用していくため、改善策を検討しているか。  
**副町長** 企業会計に移行し、会計上の現金の支出を伴わない償却資産などがあり、赤字という形になっている。現段階では留保資金の基金もあり、対応できている状況である。

## 消防団の報酬見直し どう変わるか

住民負担の軽減からも水道料金の見直しは、慎重に検討しなければならぬと考えている。  
**山崎委員** 見直しは、近隣町村と比較してどうか。  
**総務課長** 消防庁からの通知、基準額に合わせ増額した。現在、全国自治体で検討している。



健康づくりに取り組む町民（町道茶屋場田子線）

経済活性化事業の内容は、**いらっしやい葛巻推進課**

**長** エンジョイチケットの販売で5千円分を4千円で、1万冊発行する予定である。また、事業所等へは、換金の際に10%の還元、さらに町内の飲食店で使用できる千円分のクーポンをセットする。持続化給付金事業や特産品販売促進事業（送料無料）も継続し実施する。

## どう進める 町の人材確保

**辰柳委員** デジタル化や

団へ支払っている。今回、消防庁から、報酬の本人支給を徹底することが示され、本町も見直しする。  
**柴田委員** 各分団運営費は、団員報酬と地域の寄付によるところが大きい。各分団の意向もあるが、運営費を見直す時期では。  
**副町長** 各分団の活動に地域の方々から寄付をいただいている。4年度から各分団屯所の光熱水費を町で負担する。地域の負担軽減、高齢化が進む状況からも、今後、課題を整理し、改善に努めたい。

## 固定資産税の減額 要因は何か

**柴田委員** 固定資産税の償却資産が、2270万円と多額の減額であるが、要因は何か。また、後年への影響はないか。

## 道の駅レストラン なぜ長引いたか

**住民会計課長** 風力発電の送電線に町外分が含まれており、修正申告されたもの。所有者の申告に基づき課税、当町の事務的な課税の誤りではない。  
**副町長** 3年度で修正し、後年への影響はない。

**姉帯委員** 道の駅レストランは2年12月に着工し、当初計画では3年9月頃に完成、オープンする予定だった。町民も心配している。なぜ長引いたか。  
**農林環境エネルギー課長** 3年12月末に工事は完了したが、備品の調達などさらに時間がかかった。

4年2月中のオープンを目指し、運営者と調整を重ねてきた。コロナの影響もあり厳しい状況ではあったが、3月1日にオープンした。

消防団員

報酬・手当を引き上げ

団員の  
処遇を改善

面的に見直し。

●町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正  
消防団員等の処遇改善で、団員の年額報酬、出勤手当ともに増額。

●町災害復興基金条例の廃止  
東日本大震災後に設けた基金で、今後、活用が見込まれないため廃止。

●高齢者福祉センター条例  
施設の管理方法や利用料金を定め、指定管理者制度により管理者を指定、浴室の利用料金は、1人1回につき100円。4年8月完成予定。

●職員の子育休等に関する条例の一部改正  
職員の妊娠・出産・育児と仕事の両立支援のため、勤務環境の整備等に関する措置が追加。

●町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の全部改正  
災害時の手続きなど全

新庁舎工事  
契約増額に

●新庁舎建設工事(1期)・建築工事等)の変更契約  
建築資材等の値上がり

●新庁舎建設工事(1期)・電気工事等)の変更契約  
太陽光発電設置等により、契約金額を9617万1900円増額し、5億6830万4000円に変更。

●町辺地総合整備計画の変更  
道路や橋梁の長寿命化のため路線等を追加。

●ロシアのウクライナへ

の軍事侵攻に抗議し非難する決議(議員発議)  
内容は、次ページのとおり。

一般会計の  
補正は減額に

株式会社(盛岡市)  
指定管理者の指定  
◆施設名 田野森林屋  
用促進住宅  
◆指定管理者 葛巻町  
◆契約相手 株式会社  
銭高組東北支店(仙台市)  
◆契約相手 株式会社  
199万8000円増額し、31億549万8000円に変更。

一般会計は、1237万円減額し、総額83億2410万円に。主な歳入は、地方交付税のうち普通交付税が1億111万円の増額、町債のうち臨時財政対策債が3384万円の減額、町税のうち固定資産税が2270万円減額となっている。歳出は、財政調整基金等積立金に1億5023万円増額、経済活性化事業費に720万増額。国の法律改正でへき地医療確保対策費としての病院会計への補助金等が減額となった。

各会計の補正額と一般会計・歳出の主な内容は次のページのとおり。

3年度 補正予算

会計名	今回補正額	補正後の予算	
一般会計(第7号)	△1237万円	83億2410万円	
特別会計／企業会計	国民健康保険事業(第3号)	△367万円	9億3126万円
	農業集落排水事業(第1号)	△2096万円	2億679万円
	後期高齢者医療事業(第1号)	380万円	8654万円
	国民健康保険病院事業(第2号)	収益的収入 △3078万円	収益的収入 10億8642万円
	水道事業(第2号)	収益的支出 58万円	収益的支出 1億9394万円

《一般会計の主な使いみち》

- 財政調整基金等へ積立て…………… 1億5023万円  
公共施設等整備基金、町債減債基金へ積立て
- 経済活性化事業費…………… 720万円  
宿泊クーポンの実績による増額など
- 病院会計への負担金減額…………… ▲4389万円  
国の改正により、へき地医療確保対策費等を減額
- 畜産振興総合対策事業費…………… ▲905万円  
いわて地域農業マスタープラン実践事業補助金の減額など
- 観光事業経費…………… ▲1784万円  
くずまき型DMO事業の委託料・大橋木橋工事費の減額など

議員発議

ロシアのウクライナへの軍事侵攻に抗議し非難する決議

ロシアによる「NATO(北大西洋条約機構)の脅威」への対抗を理由とするウクライナへの軍事侵攻は、平和を希求する国際社会の長年の努力を無にし、国際秩序の根幹を揺るがす行為であり、我が国を含む世界の平和と安全を著しく脅かすものである。このような、武力による一方的な現状変更の行動は、領土保全・武力不行使等を規定する国連憲章と国際法に明らかに反する行為であり、断じて看過できない。

さらに、核兵器の使用をほめかし国際社会を威嚇するような言動は、唯一の核兵器による被爆国である我が国にとって、断じて容認することはできない。

よって、葛巻町議会は、ウクライナの主権を侵害するロシアの軍事侵攻に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、ロシア軍のウクライナからの即時・完全・無条件撤退を強く求める。

そして、不当な侵攻から自国の主権と領土、自由と民主主義、家族と同胞を守るため、困難な戦いの中にあるウクライナ国民に寄り添う気持ちを表すとともに、世界の恒久平和を強く念願する。以上、決議する。

令和4年3月15日

葛巻町議会



令和4年1月の出初め式の様子

賛成討論

『大型事業の財源  
堅実に確保』



山崎 邦廣 議員

4年度の一般会計予算と特別会計・企業会計予算に賛成する。

4年度の一般会計の予算案は、約75億6000万円の規模で、3年度と比較して、約10億2000万円の増額となる大型予算である。

この主な要因は、新庁舎等の建設事業に、約16億4000万円計上されたことであるが、新たな“まちづくり”の拠点として、多くの町民の皆さんが完成を待ち望んでいる事業である。事業の着実な実施に向けた取り組みを期待する。

一方では、大型となる歳出予算の財源である「歳入」が、堅実に確保されている。その内容は、交付税措置のある有利な起債を活用、また、起債を充てられない部分には、積立てた基金が確実、効率的に充てられており、財政の安定確保が図られているものと、評価する。

4年度予算は、町の最重要課題である「人口減少対策・地方創生」と、町総合計画に掲げられている「いきいきと輝き続ける“ひと”」、「誰もが住みたくなくなる“まち”」、「地域資源を活かす“しごと”」の3つの基本目標の実現に向けて、各分野の事業の有用性が考慮された、きめ細やかな予算である。

(要約)

■反対討論なし



## 議員の判断 (議決結果)

議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
<b>4年度予算</b>			
議案第2号	一般会計	可決	全員賛成
議案第3号	国民健康保険事業勘定特別会計	可決	全員賛成
議案第4号	農業集落排水事業特別会計	可決	全員賛成
議案第5号	後期高齢者医療事業特別会計	可決	全員賛成
議案第6号	国民健康保険病院事業会計	可決	全員賛成
議案第7号	水道事業会計	可決	全員賛成
<b>3年度補正予算</b>			
議案第8号	一般会計 (第7号)	可決	全員賛成
議案第9号	国民健康保険事業勘定特別会計 (第3号)	可決	全員賛成
議案第10号	農業集落排水事業特別会計 (第2号)	可決	全員賛成
議案第11号	後期高齢者医療事業特別会計 (第1号)	可決	全員賛成
議案第12号	国民健康保険病院事業会計 (第2号)	可決	全員賛成
議案第13号	水道事業会計 (第2号)	可決	全員賛成
<b>条例の改正・制定</b>			
議案第14号	町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	可決	全員賛成
議案第15号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	全員賛成
議案第16号	町が設置する一般廃棄物処理施設にかかる生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の全部改正	可決	全員賛成
議案第17号	町災害復興基金条例の廃止	可決	全員賛成
議案第18号	高齢者福祉センター条例	可決	全員賛成
<b>契約変更</b>			
議案第19号	新庁舎建設工事 (1期・建築工事等) の変更	可決	全員賛成
議案第20号	新庁舎建設工事 (1期・電気設備工事) の変更	可決	全員賛成
<b>その他</b>			
議案第21号	公の施設に係る指定管理者の指定 (田野森林雇用促進住宅)	可決	全員賛成
議案第22号	町辺地総合整備計画の変更	可決	全員賛成
発議第1号	ロシアのウクライナへの軍事侵攻に抗議し非難する決議	可決	全員賛成

### 繰越明許費【一般会計】

3年度の事業 (予算) で、4年度も引き続き実施する事業は次のとおりです。

区分	事業名・内容	金額	
1	総務費	庁舎等建設事業 (南側エントランス)	2億7549万円
		戸籍住民基本台帳管理経費 (マイナンバーカード所有者転出入ワンストップ化対応)	190万円
3	民生費	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費	350万円
		老人福祉センター管理経費 (高齢者福祉施設整備事業)	5億493万円
5	農林水産業費	畜産振興事業管理経費 (山地酪農研修センター長寿命化修繕工事)	700万円
		いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 (コンピタンカー購入に対する助成)	630万円
8	土木費	道路改良工事: 茶屋場田子線	4481万円
		道路改良工事: 葛巻浦子内線	6985万円
		道路改良工事: 愛羅瀬線	800万円
9	教育費	保健体育総務管理経費 (社会体育館誘導灯交換工事)	260万円
合計		9億2490万円	

## 1月会議

1月28日、1月会議が行われました。補正予算2件が提案され、原案どおり決定しました。

### ●一般会計(第5号)【専決処分】

2777万円を追加、総額82億2927万円に。主なものは、子育て世帯等臨時特別支援事業給付金事業。

### ●一般会計(第6号)

1億720万円を追加、

## 3月会議

予算額83億3647万円に。主なものは、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業。

### ●教育長任命の同意

鹿崎良宏さん(60歳・盛岡市)を任命することに同意。

任期は前任者の残任期間で、4年4月1日から5年12月31日まで。



鹿崎良宏教育長

議案等番号	件名	議決結果	賛否
<b>1月会議</b>			
承認第1号	一般会計補正予算(第5号)専決処分	承認	全員賛成
議案第1号	一般会計補正予算(第6号)	可決	全員賛成
<b>3月会議</b>			
議案第23号	一般会計補正予算(第8号)	可決	全員賛成
同意第1号	教育長任命の同意	同意	全員賛成

## 議会活動報告

### ●盛岡地区広域消防組合議会2月定例会

【出席者】辰柳敬一議員

【期日】2月22日

【場所】組合本部

【議案】条例改正3件、3年度補正予算1件、4年度予算1件、その他5件

【結果】全議案可決

【結果】全議案可決

### ●盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会

【出席者】姉帯春治議員、山崎邦廣議員、近藤聖議員

【期日】2月25日

【場所】八幡平市役所

【議案】3年度補正予算2件、4年度予算2件、その他1件

【結果】全議案可決

【結果】全議案可決

Next page  
一般質問

## 今ここが聞きたい

3月7日、5議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

### 14ページ 山崎 邦廣 議員

1. 交通結節点の利便性向上について

### 15ページ 近藤 聖 議員

1. 新型コロナウイルス感染拡大が及ぼす、教育活動への影響について
2. 公共施設周辺の冬季の安全対策について

### 16ページ 柴田 勇雄 議員

1. 町行政デジタル化推進の取り組みについて
2. 森林環境譲与税の有効活用方策について
3. 町内における新型コロナウイルス感染者発生状況(第6波)等について

### 17ページ 遠藤 裕樹 議員

1. 町の活性化の構想について

### 18ページ 辰柳 敬一 議員

1. 自然エネルギーについて



こんどう きよし 近藤 聖 議員

### 問 病院周辺の冬季安全対策は

### 答 新庁舎に相応しい環境整えたい

**議員** 児童・生徒への精神的な影響と対応を伺う。  
**町長** 児童・生徒及び保護者等にアンケートを実施して情報収集を行ない、必要に応じてスクールカウンセラーを派遣できる準備を整えている。現時点で大きな影響や対応が

**議員** 新型コロナウイルス感染拡大の中小学校への影響について。  
**議員** 町内小中学校での教育活動への影響を伺う。  
**町長** 1月下旬から2月にかけて町内小中学校では、1校でクラスターが、ほか数校でも感染者が発生した。そのため家庭内感染による拡大が懸念されるため、1週間程度の休校措置を講じた。

各小中学校では、年度当初、感染拡大を想定して年間授業日数を多めに設定しており、法定授業時数は確保される見通しである。  
**議員** 感染者や関係者への差別・偏見や誹謗中傷が許されない。差別や中傷が起こらないよう、文部科学省のコロナ対応マニュアルののっとりて学校に依頼した。学校によりで地域住民にも呼びかけが伝わり、適切な対応と指導だったと捉えている。

**議員** オンライン授業の実施体制の現状は。教育次長 休校期間が短く、オンライン授業は実施しなかった。家庭でのオンライン環境は88軒が整備され、実態に応じて実施できる状況である。

必要な事例は見られない。  
**議員** 当該校の「偏見や差別をしないように」という学校だよりの所感を伺う。  
**教育長** 感染者や関係者への差別・偏見や誹謗中傷は許されない。差別や中傷が起こらないよう、文部科学省のコロナ対応マニュアルののっとりて学校に依頼した。学校によりで地域住民にも呼びかけが伝わり、適切な対応と指導だったと捉えている。



病院付近駐車場の路面状況

**議員** 葛巻病院周辺の町道などの凍結や落雪への事故防止対策は。  
**町長** 町内全域で路面凍結箇所の事故防止対策に努めてきた。指摘された道路でも、融雪剤の散布

**議員** 今後の公共施設周辺の冬季安全対策、事故防止対策の方針は。  
**町長** 降雪・凍結等に完全に対応することは難しいが、安心して公共施設を利用できるように安全・事故防止の対策を行い、適切な施設の維持管理に努めたい。また、役場新庁舎工事が進行中だが、冬季の安全対策について十分配慮し、町道の再整備等、「まち」の拠点に相応しい環境を整えたい。

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ関係機関と調整を図っていく。  
**議員** 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。  
**町長** 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていききたい。

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。  
**町長** 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の取組

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。  
**町長** 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の取組



やまざき ひろあき 山崎 邦廣 議員

### 問 交通結節点の利便性向上を伺う

### 答 新庁舎のハブ機能で課題解決を推進

**議員** 交通の乗換えや交通と公共施設への用向きとの円滑な接続について伺う。  
**町長** 町内のバスの状況は、民間事業者では、JRバス東北が「白樺号」「田部線」「大平橋線」、岩手県北バスが「葛巻線」の4路線が運行している。また、町が直営で運行する「通院バス」が、公共交通機関として町内各地域と町中心部を繋ぐ役割を担っているほか、学区内と小・中学校を結ぶ「スクールバス」や近隣市町村から葛巻高校への通学、公営学習塾からの帰宅を支援する車両運行も行っている。  
民間バス4路線は、JRバス葛巻駅が結節点となり、町内外へのアクセス拠点として、長年において活用されてきた。

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。  
**町長** 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の取組

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。  
**町長** 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の取組



ハブ機能が期待される工事中の新庁舎（中央）

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ関係機関と調整を図っていく。  
**議員** 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。  
**町長** 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていききたい。

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。  
**町長** 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の取組

また、駅舎の管理がJRバス東北から町へ移管された後も、産直施設「まちの駅」やレストランの入居など施設機能の維持・充実をはじめ、中心市街地のにぎわい創出の拠点として活用を図ってきた。  
**町長** 駅舎では、休日・夜間などの待合室やトイレの利用のほか、駅舎の段差解消、駐車スペースの確保など、利便性の課題解決の取組

併せて「交通結節点」の移行・充実について、民間バス事業者をはじめ関係機関と調整を図っていく。  
**議員** 待ちスペースの充実、天候の急変や寒い時期では重要と考える。負担軽減についての考えを伺う。  
**町長** 現在の中心市街地に不足している駐車場や駐輪スペースの確保のほか、バス運行時間と連動した待合スペースの確保を含め、くずまき型DMO事業で推進する「歩きまわりたくなる『まちなか』」の起点終点としての機能、あるいは、まちなかのにぎわい創出など、町の最重要課題である人口減少問題の解消・地方創生を推進する拠点として充実を図っていききたい。





えんどう ひろのぶ 遠藤 裕樹 議員

### 問 町の活性化への構想は

### 答 地域経済の回復とともに効果的に進める

盛岡中央消防署葛巻分署の跡地は、国道281号と町道茶屋場田子線を結ぶ連絡道としての活用を予定している。

町長 現在、新庁舎の建設については、行政機能のほか交流機能、商工・金融機能を有する複合施設として、本年8月の竣工を目指し工事を進めている。

議員 新庁舎完成に伴う施設等の移転の跡地利用は、どのように活用していくか。

跡地利用について



完成間近の大橋（4月6日）

町長 大橋架け替え工事後は町中心部の車両の流れが大きく変化することが予想される。

議員 人流の変化と歩き回りにくくなるまちづくりの実現のため、安全・安心な歩道整備等どう進めていくか。

安全な歩道整備について

町長 町では、対象森林の所有者に対し、意向調査・現状調査を実施しており、令和4年度からは調査を終えた区域から順次、森林整備事業に取り組みこととしている。

議員 コロナでダメージを受けた町を、活性化するための予算措置は。

今後の活性化の方針は

具体的事業は、「エンジンヨイチケット販売事業」「特産品販売促進事業」「商工業者持続化給付金」「着地型観光体制構築事業」「特産品高付加価値化支援事業」など、

町長 対象児童数は、2月末現在198人が対象となる。

議員 町内における5歳から11歳の対象児童数とワクチン接種への対応を伺う。

ワクチン接種について



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

### 問 町行政デジタル化推進の取組みは

### 答 オンライン申請など取組みを強化

町長 町では、令和4年度末までに「行政手続きサービスのオンライン化」、令和7年度末までには「基幹業務システムの標準化に向けた様式の統一化」などを踏まえた、住民情報を取り扱うシステムの改修を行うこととしている。

議員 デジタル化が想定される町行政業務内容やメリットは。

町長 町では、令和4年度末までに「行政手続きサービスのオンライン化」、令和7年度末までには「基幹業務システムの標準化に向けた様式の統一化」などを踏まえた、住民情報を取り扱うシステムの改修を行うこととしている。

議員 デジタル化に伴うメリットは。

デジタル化に伴うメリットは



早急な手入れが必要な山林

議員 町では、森林環境譲与税について

町長 町では、対象森林の所有者に対し、意向調査・現状調査を実施しており、令和4年度からは調査を終えた区域から順次、森林整備事業に取り組みこととしている。

議員 町内における5歳から11歳の対象児童数とワクチン接種への対応を伺う。

ワクチン接種について

町長 町では、対象森林の所有者に対し、意向調査・現状調査を実施しており、令和4年度からは調査を終えた区域から順次、森林整備事業に取り組みこととしている。

議員 コロナでダメージを受けた町を、活性化するための予算措置は。

今後の活性化の方針は

町長 対象児童数は、2月末現在198人が対象となる。

議員 町内における5歳から11歳の対象児童数とワクチン接種への対応を伺う。

ワクチン接種について

# ふるさと懇談会

小学校

開催 1月25日  
参加者 児童 27名  
「どんな町、地域、学校に  
なればよいと思うか」

議会では、町民に開かれた議会を目指し、多くの意見や声を聞く機会のある場として、議会報告会「ふるさと懇談会」を開催しています。町内の小学校、中学校、高校の児童生徒の皆さんから提案をいただき、意見交換を行いましたので、その内容をお知らせします。



**五日市小学校**  
葛巻の良さを  
もっとアピール  
できるように町に  
できるような町に  
犬や猫による癒し系の動画を  
見かけることが多くなりました。  
同じように牛舎の中で酪農家  
でしか味わうことができない親牛  
や子牛のかわいいしぐさなど、  
癒し系の動画を発信してみたい  
どうかと思います。  
また植樹祭やくずまき秋まつ  
りなどのイベントにくずまきテ  
レビだけでなく、他のテレビ  
局に取材に来てもらって、中継  
してもらってはどうかと思いま  
す。その中でミルンちゃんが町  
の特産品を紹介するのも良いと  
思います。  
ネットやSNSなどによって  
葛巻の良さがもっと多くの人々  
にアピールされればふるさと納  
税などももっと増えると思いま  
す。(ほかに2項目の提言あり)

**小屋瀬小学校**  
葛巻町がより明るく  
活気のある町に  
葛巻町には大きな店がなく町  
外に行くことが多いです。気軽  
に運動や遊びができる場所、例  
えば1階にスポーツや遊びがで  
き、2階に買い物や食事がで  
きる店を作るなどすればいい  
と思います。そこには葛巻の  
木で作ったイスやテーブルを置  
き、食材は葛巻産のものを使用  
建物や空き家などを活用します。  
町内に小型バスを走らせ、子ど  
もたちが週末自分たちで気軽に  
行ける場所ができ、高齢者の  
方々も楽しく集まれ、運動不足  
解消にもなります。楽しく活気  
のあるまちになることで、他地  
域からの移住が増え、他地域へ  
の人口の移動がなくなり、人口  
が少しずつ増えるのではないか  
と思います。



**葛巻小学校**  
ふるさと葛巻の  
未来を考えよう  
まちのために自分ができるこ  
とを総合学習などで年間を通し  
て考え、まちの魅力と課題の再  
発見をしました。その学びの中  
で、支え合い楽しく活気のある  
町をつくれれば、葛巻町に暮ら  
している人も楽しいと思ひ、また  
町外の人も葛巻町に行ってみ  
たい、暮らしてみたいと思える町  
になると考えました。  
そのためには、おいしいお肉  
や乳製品、山菜などの食材を  
使って鍋などの料理を作ったり  
葛巻町がもっと身近になるキー  
ホルダーを作ったりして、三日  
市やネットなどで販売したいで  
す。そうすることで魅力を知  
る人が増え、葛巻町に行ってみ  
たいと思う人が増え、支え合い  
楽しく活気のあるまちになると思  
います。



**江刈小学校**  
葛巻町に興味を持って  
くれる人を増やし  
にぎわいのある町に  
総合的な学習の時間に葛巻町  
の魅力や自慢できるものを調べ  
ました。その中で、葛巻にはた  
くさんの森林があることを実感  
し、これらの葛巻の宝を活用し  
て葛巻を盛り上げる提案を3つ  
したいと思ひます。  
1つ目は葛巻の木を使って、  
古い建物や空き家をリフォーム  
してお店や住宅を作ることです。  
2つ目は葛巻の木を使った  
商品を作って販売することです。  
3つ目はこれらの取り組みを  
ユースブックやインスタグラム、  
フェイスブックを使ってPRす  
ることです。この取り組みで多  
くの人に葛巻の魅力を知って  
もらい、行ってみたい住んでみ  
たいと思う人も増え、明るく活  
しい町になると思ひます。



## 問 地域資源の利活用で若者定住を

## 答 住民理解を得られる形で進めたい



たつやなぎ けいいち  
辰柳 敬一 議員

**バイオマス発電の経緯**

**議員** 畜産バイオマス発電の計画があつたが、実現していない。その後、計画はどうなっているか。

**町長** 町は平成26年度に「新葛巻型酪農構想」を策定、畜ふんバイオガスプラント整備は、「自己完結型」から「大規模共同処理型」に移行し、余剰熱を温室栽培などに活用する構想であつた。経費の負担額などで酪農家の賛同が得られず、事業実施に至らなかつた。

**議員** 木質バイオガス(熱利用)の利活用の検討も併せて検討すべきと思うがどうか。



増頭に取り組む酪農家の牛舎

**町長** 畜ふんバイオガス発電は、計画当初から余剰電力・熱を活用することで進めている。早期実現に向け改めて調整する。木質バイオガス発電は、熱利用効率が非常に高く、発電と合わせることでエネルギーを最大限活用できる。実用化には、燃料調達や採算性に課題があるほか、エネルギーを活用する施設整備などの検討が必要である。

**議員** 山の有効活用が本町の大きな課題である。木質バイオガス発電に取り組みを進めてほしい。農林環境エネルギー課長 木材を原料とした発電施設を今後どのように進めるかについて、町で設置するものか、民間で設置するものかの検討も必要である。原料の供給は、

木材価格の変動などもあり、いろいろな角度から今後検討したい。

**専任部署で事業推進を**

**議員** 専任の部署を作り、木材と畜産のふん尿を活用し事業を進めていくことで、町の若者の定住化や、商工業の課題解決へもつなげられると思うが、町長はどう考えるか。

**町長** 人口減少対策にはさまざま取り組んでいる。人材育成など各分野で一歩ずつ着実に前進していると思ひている。本町の環境担当課でも今、環境省等が進める各種施策等にも、的確に対応できる状況にあり、若い人材に磨きをかけ取組みを加速させたい。  
大きな先を見据えることも肝要であるが、一歩先を見据えながら、町民から理解を得られるような形で進めていきたい。

議会に対する質問

**葛巻小学校**  
議会で活動しているときに大切にしている考え方はありますか。

**議員**  
議員の大きな仕事に、「議決をする、決める」ということがあります。そのために、1つ目は考え方が偏らないように、2つ目は幅広い視点を持つこと、3つ目は考え方がきちんと相手に伝わるようにということを大切にしています。

**葛巻中学校**  
災害に強い葛巻に関連した質問です。馬淵川が氾濫した場合、避難所である葛巻中学校は、垂直避難しかできません。葛巻中学校には備蓄品等も十分に備えているとは思えないのですが、町として災害時にどのような対策をとってもらえるのか教えてください。

**議員**  
避難所には指定緊急避難所と指定避難所があります。指定緊急避難所は災害による危険が切迫した時に緊急に避難する施設で、指定避難所は災害で家に戻れなくなった方の一時的な生活場所となる避難所で、葛巻中学校は指定避難所として位置付けられています。町で備蓄している生活用品、例えば簡易ベットとか間仕切り、マットなどの物品があります。葛巻中学校が避難所として開設された際には、その生活に必要な物品や食料を運び込み避難所の運営を行うこととなります。学校には常時、備蓄品を貯蔵しておく計画はありませんが、町が別な場所で備蓄しています。



懇談会で議長を務めてくださった児童生徒の皆さん

高校

開催 1月25日  
参加者 高校生 11名  
「町の未来に望むこと、葛巻高校に必要な町の施策は」

4名からの提言のうち紙面の都合により2名を紹介します(学年は3年度)

**田澤寿珠さん(2年)**  
総合運動公園の設備について  
私はソフトテニス部に所属し、毎日、総合運動公園のテニスコートを利用させていただいていますが、夏場は良いのですが、秋になると日が早く暮れてしまうので、ナイター設備があれば大会前でも十分な練習ができ、また町内中学生の部活動の利用も期待でき、より活発な部活動ができると思います。さらに町外から総合運動公園を練習や合宿の場所として選び、呼び込むことで、私たちも合同練習など学校間での交流も生まれ、総合運動公園の継続利用にもつながると考えました。



葛巻高校の部活動で総合運動公園を利用していただいているのはテニス部のほかにサッカー部、陸上競技部、野球部です。その部員の皆さんとの話の中で、高校と総合運動公園の間の道に外灯が少ないという声がありました。一般の方々がウォーキングやランニングに利用したり、山村留学生も登下校に利用したりしているため、安全な利用のために必要だと思えます。



**あまの 燭周さん(2年)**  
葛巻町に貢献したい  
私たち山村留学生は、まちのいろいろなイベントに参加させていただいていますが、町民の高校生参加が少ないように感じます。話を聞くと、地域により遠いので参加しにくい、小さなイベントに気づきづらいということでした。もし休日にはバスを運行していただくと、高校生でも参加しやすくなると思います。以前、町内の方から、高校生と話す機会があるといいなと直接、声をかけていただいたことがあります。私も葛巻生と町民の方々が、もっと気楽に交流できる場があるといいなと思っています。私は葛巻町をとてもいまちと感じています。確かに都心に比べれば交通の面で多少不便ですが、町のイベントが多く、皆さん親切で、楽しく生活させていただいています。大学進学のため一度、葛巻町を離れますが、葛巻町に戻って来たいと考えています。将来は、葛巻町に貢献できるよう尽力したいと思っています。

中学校

開催 1月28日  
参加者 中学生 15名  
「どんな町、地域、学校になればよいと思うか」

**小屋瀬中学校**  
若者を中心とした賑わうまち  
たくさんの方々の若者に将来、葛巻に実際に住んでいただけるような取り組みができればと思います。2つの案を考えました。1つ目は葛巻の郷土食を活かしたイベントを企画しSNS等を通して情報を発信。「かっけ」や「そばもち」などの店を出すことで町内外どちらの人も、葛巻の郷土食を楽しみながら知ることができると思っています。2つ目はお年寄りや若者が一緒に、そばもちをつくる郷土食交流会を主催してはどうでしょうか。ネットなどで発信し、他の地域の方々にも来ていただき、お年寄りの方と一緒に食べることで、世代間交流も増え、葛巻の昔ながらの良さや、伝統を次の世代に継承していくことができると思っています。郷土食が町のPRになり、SNS等で情報発信することでたくさんの方に町を知っていただき、来町者を呼び込み、地域の活性化につながっていくと考えます。



**葛巻中学校**  
災害に強い町葛巻  
総合の時間の防災学習で、日本各地様々な自然災害が発生し、葛巻町も土砂災害や川の氾濫の恐れのある地域であることを学び、災害時の対策を万全にしたいと考えました。この実現のため1つ目は、各地区の掲示板に防災マップを掲示し、避難所に備蓄品情報を掲示する。2つ目は、山沿いの家の安全性を確認し、凹凸が激しい道路の整備や外灯を整備する。3つ目は、町一体となった避難訓練を実施する。4つ目は町から緊急メールを配信するシステム体制づくりを検討してもらいたいと思います。このことで自分の地区の避難所やその避難所にある備蓄品を理解し、家族や近所の人と話し合う時間が増え、災害時の避難の役にたちます。また、避難が必要とき緊急メールで危険箇所を避け移動できます。そうすることで、助け合い、安全が確保しやすく、より安心して暮らせるようになると考えます。



**江刈中学校**  
使われていない建物を活かす  
事例として「やどり木」があります。立ち上げた方々は、町内で集える場所を作りたいという思いがあります。私たちも今使われていない建物を活かし、町民が集え、さらに町外からも人が来て活気があふれる町ができれば良いと考えました。建物を全て壊さずに、壁や床など部分的に直しただけでもやどり木のように町外からも訪れるので、積極的に空き家などを活用すれば良いと思います。同じように「旧森と風のがっこう」にも注目、カフェや遊具のある公園を作れば子どもたちも遊べ、笑顔になる場所になると思います。さらにSNSで情報発信することで町内外から人が集まり、にぎわいが増します。「やどり木」のように、お年寄りから幼児まで、幅広い年代の交流ができます。交流する場があることで、意見の交換もたくさんできると思います。(このほか2点の提言あり)

# くずまきの笑顔

## 町商工会女性部 ひな飾りづくり



町商工会女性部（近藤とし子部長）では3月15日にひな飾りづくりを行いました。同部では平成26年から町屋を活用し「まちなかひなまつり」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染対策のため、残念ながら開催が見送られました。今年、旧暦のひなまつり（4月3日）に飾ればと、お花をあしらったひな飾りづくりに挑戦しました。部員のみなさんは来年の開催を願っていました。

くずまき  
テレビ  
録画放送  
の予定

月 日	時間	内 容
4月15日（金）	9時	1 町長施政方針演述、補正予算等審議
	17時	2 一般質問5人
4月16日（土）	9時	3 当初予算審議、採決
	17時	1 町長施政方針演述、補正予算等審議
4月17日（日）	9時	2 一般質問5人
	17時	3 当初予算審議、採決

お詫び 3月定例会議の生放送中に、マイクの不調により一部音声をお伝えできませんでした。大変申し訳ありませんでした。

## 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各種団体の総会、式典などの会費が主なものです。

**1月 31,000円**（町新年交賀会 ほか3件）

【2～3月の支出はありません】

次の定例会議は**7月1日(金)**です。

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮して制作しております。一部当たり約101円で作成されています。印刷：(株)白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

森林認証した紙を使用しております。



編集後記

3月定例会議では主に令和4年度予算について審議されました。令和4年度には、新庁舎や大橋などの竣工が予定されています。新庁舎は2期工事、大橋は取り付け道路整備工事が続き、完成が待たれます。広報常任委員会  
委員 下屋敷 幸男